

第11回 日本ポンペ病研究会

テーマ：ポンペ病の早期診断に向けての取組み

日時：2016年6月25日（土） 13時30分～17時30分

会場：東京コンファレンスセンター品川 5F 大ホール（品川駅 港南口徒歩2分）

開会の辞

代表幹事 衛藤義勝 先生 脳神経疾患研究所/東京慈恵会医科大学

第1部：患者さんと医師のセッション

13:30～14:10

司会： 埜中征哉先生 国立精神・神経医療研究センター病院

コメンター：川井充先生 東埼玉病院

：成田綾先生 鳥取大学 脳神経小児科

演者：星和明様（ポンペ病患者の会 会長）：発症から診断までの道のり

演者：岡崎俊文様（ポンペ病患者の会 事務局長）：チーム医療の充実

**** 14:10～14:30 休憩 ****

第2部：医療関係者のセッション

1. 症例報告（4症例：1演題質疑応答含めて15分）

14:30～15:30

司会：小林博司先生 東京慈恵会医科大学 小児科

大矢 寧先生 国立精神・神経医療研究センター病院

① 小児型 原 卓也先生 大分県立病院 小児科

② 小児型 小篠 史郎先生 熊本大学 小児科

③ 成人型 田中 信行先生 下志津病院 神経内科

④ 心症状 小山耕太郎先生 岩手医大 小児科

2. シンポジウム 早期診断のための取組み

15:30～16:15

司会：奥山虎之先生 国立成育医療研究センター

西野一三先生 国立精神・神経医療研究センター

① 新生児スクリーニング 中村公俊先生 熊本大学 小児科

② ハイリスクスクリーニング 尾方克久先生 東埼玉病院

③ 筋病理スクリーニング 西野一三先生 国立精神・神経医療研究センター

**** 16:15～16:30 休憩 ****

3. 招聘講演

16:30～17:30

「海外での取組み Late-onset Pompe Disease early diagnosis study」

司会：衛藤義勝先生 脳神経疾患研究所/東京慈恵会医科大学

演者：Prof. Toscano Department of Neurosciences, University of Messina

開会の辞

代表幹事 衛藤義勝先生 脳神経疾患研究所/東京慈恵会医科大学